



## 夏季中体連大会 入賞おめでとう！

- ★優勝 団体：男子バドミントン  
個人：日野遥斗・永田優斗(バドミントン男子ダブルス)
- ★準優勝 団体：男子ソフトテニス  
個人：土井瑞己・村上蓮(バドミントン男子ダブルス)  
江口礼(バドミントン女子シングルス)
- ★3位 団体：女子バレーボール、女子ソフトテニス  
個人：丸山翔大(バドミントン男子シングルス)  
石丸絢菜(バドミントン女子シングルス)  
西原碧海(空手女子個人組手・個人形)

どの部も三中魂で最後まで全力で戦ってくれました。中体連大会を迎えるにあたって一番大切だったことは勝つことでも結果を出すことでもありません。目標に向かって、精一杯努力した日々の生活の積み重ねや仲間との絆が、いかに大切だったのかに気づけたかどうかです。コロナ禍でも大会を開催していただいた関係者への感謝の思いとともにそこに気づけたならば、大きく成長していくと思います。『負けと書いてバネと読む』

## ドラマ「ドラゴン桜」②

「自分の将来は周りが決めるのではない。自分の人生は自分で決めるんだ。人生はどうなるかではなく、どうするかだ。大きく強く一步を踏み出せ。その一步に全力で挑め。そして勝利を掴め。」これは、ドラマの中で桜木先生が大学受験を前にした生徒に対して真っ直ぐに伝えていた言葉です。とても大切な2つのメッセージが込められていると思います。

一つは「自分の人生は、自分で切り拓け」ということです。

自分の人生を切り拓いていくのは、自分自身です。この先自分はどのようなだろうと不安に思うのではなく、まず「こうなる」と決めることから始まります。だから、夢や目標が決まっている人は、その目標達成のために今を精一杯頑張ってください。夢や目標が決まっていない人は「もっと頑張っておけばよかった」と後で後悔しないように、今この瞬間を全力で取り組んでおくことです。コツコツが勝つコツです。中学生期は「自ら学び続ける力」を身につけておくことが夢実現につながるのです。

もう一つは「どうするかを決めたら、一步を踏み出す勇気を持って全力で取り組み」ということです。例えば、授業中に自分の意思で寝ている人がいたとしましょう。その人は、「今」という時間を大切にせず、「寝る」という行動を自分で選択したことになります。大切な仲間である友達や先生と過ごす時間をムダにしているのです。「わからないから」「面倒くさいから」「面白くないから」「スポーツを頑張っているから」「昨日夜更かししたから」などと、どんな理由を並べても授業(今)を全力で頑張れない人に、夢実現の日がくるはずがありません。なぜなら、1日24時間を大切に生活をしていないからです。自分の夢や目標を達成していく人は、みな1日24時間を夢や目標達成のために、質の高い生活になるよう自分をコントロールしているのです。まさに、自立型人間なのです。授業中は、背筋を伸ばし(立腰という)、先生の話を中心に聴き、自分で考え、友達と真剣に学び続ける習慣を身につければ、きっと夢が叶う瞬間に立ち会うことができるでしょう。大切なのは『才能』ではなく、『習慣』なのです。

『勉強と思うな、人生と思え!』です。今の頑張りは必ず明日の自分につながります。自分を信じて、仲間を信じて、『今』というこの瞬間を大切に・・・。